



2024年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年2月5日

上場会社名 アステラス製薬株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4503 URL <https://www.astellas.com/jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 岡村 直樹
 チーフコミュニケーションズ
 問合せ先責任者 (役職名) & IRオフィサー (氏名) 池田 博光 (TEL) 03(3244)3201
 四半期報告書提出予定日 2024年2月6日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前 四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	1,189,070	2.1	74,119	△59.1	73,630	△59.1	50,323	△65.3	50,323	△65.3	113,936	△47.9
2023年3月期第3四半期	1,164,365	17.3	181,279	7.0	180,238	7.7	144,839	9.3	144,839	9.3	218,550	32.8
	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益									
	円 銭		円 銭									
2024年3月期第3四半期	28.06		27.96									
2023年3月期第3四半期	79.43		79.40									

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	3,368,682	1,503,255	1,503,255	44.6
2023年3月期	2,456,518	1,507,954	1,507,954	61.4

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	30.00	-	30.00	60.00
2024年3月期	-	35.00	-	-	-
2024年3月期(予想)	-	-	-	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,562,000	2.9	83,000	△37.6	82,000	△38.0	58,000	△41.2	58,000	△41.2	32.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

コアベースでの連結業績予想は次のとおりです。

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		コア営業利益		コア当期利益		基本的1株当たり コア当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,562,000	2.9	164,000	△42.8	127,000	△43.5	70.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は、会社の経常的な収益性を示す指標としてコアベースの業績を開示しています。コアベースの業績の定義につきましては、添付資料に記載しています。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期第3四半期	1,809,663,075株	2023年3月期	1,809,663,075株
② 期末自己株式数	2024年3月期第3四半期	16,676,652株	2023年3月期	12,900,609株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期第3四半期	1,793,344,330株	2023年3月期第3四半期	1,823,463,287株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想及び添付資料に含まれる将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料をご覧ください。

(四半期決算補足資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

四半期決算短信の開示とあわせて四半期決算補足資料及び四半期決算説明会資料を開示しています。

また、2024年2月5日(月)に証券アナリスト・機関投資家・報道機関向けに説明会(ライブ動画配信)を開催する予定です。この説明会の内容については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	7
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	9
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	10
(1) 要約四半期連結純損益計算書	10
(2) 要約四半期連結包括利益計算書	11
(3) 要約四半期連結財政状態計算書	12
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	14
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	16
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	17
(継続企業の前提に関する注記)	17
(企業結合)	17

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

<連結業績（コアベース^(注)）>

当第3四半期（2023年4月1日から12月31日）の連結業績（コアベース）は下表のとおりです。
売上収益は増加した一方、コア営業利益及びコア四半期利益は減少しました。

[連結業績（コアベース）]

(単位：百万円)

	前第3四半期 (2023年3月期)	当第3四半期 (2024年3月期)	増減額 (増減率)
売上収益	1,164,365	1,189,070	+24,705 (+2.1%)
売上原価	226,073	219,256	△6,817 (△3.0%)
販売費及び 一般管理費	470,977	546,961	+75,984 (+16.1%)
研究開発費	206,052	216,334	+10,282 (+5.0%)
無形資産償却費	29,174	66,173	+36,999 (+126.8%)
無形資産譲渡益	208	9,735	+9,528 (—)
持分法による投資損益	1,371	△461	△1,832 (—)
コア営業利益	233,668	149,620	△84,048 (△36.0%)
コア四半期利益	188,922	120,505	△68,417 (△36.2%)
基本的1株当たり コア四半期利益(円)	103.61	67.20	△36.41 (△35.1%)

(注) 当社は、会社の経常的な収益性を示す指標としてコアベースの業績を開示しています。当該コアベースの業績は、フルベースの業績から当社が定める非経常的な項目を調整項目として除外したものです。調整項目には、減損損失、有形固定資産売却損益、リストラクチャリング費用、災害による損失、訴訟等による多額の賠償又は和解費用等のほか、会社が除外すべきと判断する項目が含まれます。なお、フルベースの実績からコアベースの実績への調整表は、決算補足資料に記載しています。

【売上収益】

- ・ 主要製品の前立腺がん治療剤XTANDI、尿路上皮がん治療剤パドセブ、急性骨髄性白血病治療剤ゾスパタの売上が順調に拡大しました。特に、パドセブは米国及び欧州で売上が大きく伸長しました。
- ・ 第2四半期に米国で発売となった地図状萎縮を伴う加齢黄斑変性治療剤IZERVAYの売上も順調に伸び、増収に寄与しました。
- ・ 一方で、米国にて発売している心機能検査補助剤レキスキャンの売上が、引き続き後発品の影響により大幅に減少しました（米ドルベースで前年同期比89.3%減）。

以上の結果、売上収益は、1兆1,891億円（同2.1%増）となりました。

【コア営業利益／コア四半期利益】

- ・ 売上総利益は、9,698億円（同3.4%増）となりました。売上原価率は、前年同期に比べ1.0ポイント低下し、18.4%となりました。
- ・ 販売費及び一般管理費は、5,470億円（同16.1%増）となりました。成熟製品における費用の削減（同約60億円減）があった一方で、為替の影響（同261億円増）や閉経に伴う血管運動神経症状治療剤VEOZAHに関連する費用の増加（同約300億円増）、さらにIveric Bio社の買収による影響（約200億円）により、総額として増加しました。なお、XTANDIの米国での共同販促費用を除いた販売費及び一般管理費は、4,007億円（同20.4%増）となりました。
- ・ 研究開発費は、2,163億円（同5.0%増）となりました。主に、為替の影響（同69億円増）やIveric Bio社の買収による影響（約80億円）により、総額として増加しました。
- ・ 無形資産償却費は、662億円（同126.8%増）となりました。Iveric Bio社の買収で獲得したIZERVAYの無形資産償却費が増加の主な要因となりました。

以上の結果、コア営業利益は1,496億円（同36.0%減）、コア四半期利益は1,205億円（同36.2%減）となりました。

【為替の業績への影響】

当第3四半期の為替レートは、下表のとおりです。これらの結果、前第3四半期の為替レートを適用した場合と比べ、売上収益においては588億円の増加、コア営業利益においては138億円の増加の影響がありました。

期中平均レート	前第3四半期	当第3四半期	変動
米ドル/円	137	143	7円安
ユーロ/円	141	155	15円安

<連結業績（フルベース）>

当第3四半期の連結業績（フルベース）は下表のとおりです。
売上収益は増加した一方、営業利益及び四半期利益は減少しました。

フルベースの業績には、コアベースの業績で除外される「その他の収益」、「その他の費用」等が含まれます。当第3四半期における「その他の収益」は85億円（前年同期：25億円）、「その他の費用」は840億円（同：549億円）となりました。

「その他の費用」として、第2四半期において、Iveric Bio社の買収に伴う権利確定前のストック・オプション等の株式報酬に係る支払（331億円）*を計上したことに加え、当第3四半期において、グローバルでの組織改革に伴う一時費用（184億円）を計上しました。

[連結業績（フルベース）]

（単位：百万円）

	前第3四半期 (2023年3月期)	当第3四半期 (2024年3月期)	増減額 (増減率)
売上収益	1,164,365	1,189,070	+24,705 (+2.1%)
営業利益	181,279	74,119	△107,160 (△59.1%)
税引前四半期利益	180,238	73,630	△106,608 (△59.1%)
四半期利益	144,839	50,323	△94,516 (△65.3%)
基本的1株当たり 四半期利益（円）	79.43	28.06	△51.37 (△64.7%)
四半期包括利益	218,550	113,936	△104,614 (△47.9%)

* 当第3四半期において、新たな事実が判明し追加的な分析を行ったため、当該株式報酬に係る支払を遡及修正しています。

【主要製品の売上】

(単位：億円)

	前第3四半期 (2023年3月期)	当第3四半期 (2024年3月期)	増減率
XTANDI	5,119	5,600	+9.4%
パドセブ	331	556	+68.1%
ゾスパタ	363	413	+13.8%
VEOZAH* ¹	—	36	—
IZERVAY	—	53	—
ベタニス／ミラベトリック ／ベットミガ	1,410	1,429	+1.3%
プログラフ* ²	1,516	1,554	+2.5%

<XTANDI>

- ・ 全ての地域で売上が拡大しました。
- ・ 米国において、2023年11月に「生化学的再発のリスクが高いM0 CSPC（非転移性去勢感受性前立腺がん）」の適応追加に関する承認を取得しました。

<パドセブ>

- ・ 発売している全ての地域で売上が拡大しました。
- ・ 米国において、2023年12月に「局所進行性または転移性尿路上皮がん患者を対象とした一次治療としてのペムブロリズマブ併用療法」の適応追加に関する承認を取得しました。

<ゾスパタ>

- ・ 為替のポジティブな影響もあり、全ての地域で売上が拡大しました。

<VEOZAH>

- ・ 発売以降売上は拡大しているものの、当初の想定を下回りました。
- ・ 欧州では、2023年12月に承認を取得しました。

<IZERVAY>

- ・ 2023年9月の発売以降、売上は順調に拡大しました。

<ベタニス／ミラベトリック／ベットミガ>

- ・ 為替のポジティブな影響もあり、グローバルの売上は拡大しました。

<プログラフ>

- ・ 為替のポジティブな影響もあり、グローバルの売上は拡大しました。

* 1 VEOZAH：欧州ではVEOZAの製品名で承認取得

* 2 プログラフ：アドバグラフ、グラセプター、アスタグラフXLを含む

【地域別売上収益の状況】

地域別の売上収益は下表のとおりです。米国は減少した一方、日本、エスタブリッシュドマーケット、グレーターチャイナ及びインターナショナルマーケットは増加しました。

(単位：億円)

	前第3四半期 (2023年3月期)	当第3四半期 (2024年3月期)	増減率
日本	2,045	2,110	+3.2%
米国	5,011	4,814	△3.9%
エスタブリッシュド マーケット*1	2,722	3,063	+12.5%
グレーターチャイナ*2	652	673	+3.3%
インターナショナル マーケット*3	1,042	1,188	+14.0%

(注) 第1四半期から、インターナショナルマーケットに含まれていた一部の国のコマーシャル区分をエスタブリッシュドマーケットに変更しています。前第3四半期の金額は当該変更を反映しています。

*1 エスタブリッシュドマーケット：欧州、カナダ 等

*2 グレーターチャイナ：中国、香港、台湾

*3 インターナショナルマーケット：中南米、中東、アフリカ、東南アジア、南アジア、ロシア、韓国、オーストラリア、輸出売上 等

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、資本及び負債の状況

当第3四半期末（2023年12月31日時点）の連結財政状態計算書の概要及び前期末からの主な変動は以下のとおりです。

2023年7月にIveric Bio社を買収して当社の連結子会社にしたことに加え、同社の買収資金に充当するために銀行借入れや、社債及びコマーシャル・ペーパーの発行による資金調達を行ったことに伴い、資産、負債に大きな変動がありました。

【資産】

総資産は3兆3,687億円（前期末比9,122億円増）となりました。

<非流動資産>当第3四半期末：2兆3,186億円（同9,120億円増）

- ・ 有形固定資産は2,890億円（同26億円増）となりました。
- ・ 主に2023年7月にIveric Bio社を買収したことに伴い、のれんは3,880億円（同596億円増）、無形資産は1兆4,523億円（同8,898億円増）となりました。

<流動資産>当第3四半期末：1兆501億円（同1億円増）

- ・ 現金及び現金同等物は2,540億円（同1,229億円減）となりました。

【資本】

資本合計は、1兆5,033億円（同47億円減）となり、親会社所有者帰属持分比率は44.6%となりました。

- ・ 四半期利益503億円を計上した一方で、剰余金の配当1,167億円を実施しました。

【負債】

負債合計は、1兆8,654億円（同9,169億円増）となりました。

<非流動負債>当第3四半期末：7,117億円（同4,892億円増）

- ・ 第2四半期にIveric Bio社の買収資金に充当するために資金調達を行い、当四半期末の残高は社債2,500億円（同2,000億円増）、長期借入金2,138億円となりました。
- ・ 主にIveric Bio社の買収に伴い、繰延税金負債が640億円増加しました。

<流動負債>当第3四半期末：1兆1,537億円（同4,277億円増）

- ・ 第2四半期にIveric Bio社の買収資金に充当するために資金調達を行い、当四半期末の残高はコマーシャル・ペーパー3,570億円（同2,820億円増）、1年以内返済予定の長期借入金502億円となりました。
- ・ その他の流動負債は4,468億円（同641億円増）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

当第3四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、1,005億円（前年同期比1,117億円減）となりました。

- ・ Iveric Bio社の買収に伴う権利確定前のストック・オプション等の株式報酬に係る支払331億円*がありました。
- ・ 法人所得税の支払額は226億円（同356億円減）となりました。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

当第3四半期の投資活動によるキャッシュ・フローは、△8,236億円（同7,619億円支出増）となりました。

- ・ Iveric Bio社等の買収に伴い、子会社の取得による支出が7,848億円（同7,848億円増）となりました。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

当第3四半期の財務活動によるキャッシュ・フローは、5,831億円（前年同期は911億円の支出）となりました。

- ・ 第2四半期にIveric Bio社の買収資金に充当するために資金調達を行ったことに伴い、短期借入金及びコマーシャル・ペーパーは2,632億円の増加（前年同期は150億円の減少）、社債の発行及び長期借入れによる収入が4,716億円（前年同期比4,216億円増）ありました。
- ・ 自己株式の取得による支出107億円（前年同期比2億円支出増）がありました。また、配当金の支払額は1,167億円（同163億円増）となりました。

以上の結果、当第3四半期末における現金及び現金同等物の残高は、2,540億円（前期末比1,229億円減）となりました。

- * 当第3四半期において、新たな事実が判明し追加的な分析を行ったため、当該株式報酬に係る支払を遡及修正しています。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、連結業績予想について、コアベース及びフルベースでの業績予想を開示しています。当期（2024年3月期）の通期連結業績予想は以下のとおりです。

VEOZAHの進捗状況を反映し、2023年11月に公表した売上収益の業績予想を下方修正しました。

これに伴い、コアベース及びフルベースの利益段階も下方修正しました。なお、販売費及び一般管理費と研究開発費の見直しを行い、上記の影響を一部軽減する見込みです。

[連結業績（コアベース）]

（単位：百万円）

	前回予想* (2024年3月期)	最新予想 (2024年3月期)	増減額 (増減率)	前期実績 (2023年3月期)
売上収益	1,608,000	1,562,000	△46,000 (△2.9%)	1,518,619
販売費及び一般管理費	737,000	731,000	△6,000 (△0.8%)	630,272
研究開発費	290,000	286,000	△4,000 (△1.4%)	276,128
コア営業利益	199,000	164,000	△35,000 (△17.6%)	286,902
コア当期利益	154,000	127,000	△27,000 (△17.5%)	224,619
基本的1株当たり コア当期利益（円）	85.87	70.82	△15.05	123.42

[連結業績（フルベース）]

（単位：百万円）

	前回予想* (2024年3月期)	最新予想 (2024年3月期)	増減額 (増減率)	前期実績 (2023年3月期)
売上収益	1,608,000	1,562,000	△46,000 (△2.9%)	1,518,619
営業利益	123,000	83,000	△40,000 (△32.5%)	133,029
税引前利益	121,000	82,000	△39,000 (△32.2%)	132,361
当期利益	85,000	58,000	△27,000 (△31.8%)	98,714
基本的1株当たり 当期利益（円）	47.39	32.34	△15.05	54.24

* 前回予想は2023年11月に公表

[通期の想定為替レート]

2024年3月期（想定）：140円／米ドル、152円／ユーロ

2023年3月期（実績）：135円／米ドル、141円／ユーロ

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結純損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上収益	1,164,365	1,189,070
売上原価	△226,073	△219,256
売上総利益	938,293	969,814
販売費及び一般管理費	△470,977	△546,961
研究開発費	△206,052	△216,334
無形資産償却費	△29,174	△66,173
無形資産譲渡益	208	9,735
持分法による投資損益	1,371	△461
その他の収益	2,517	8,471
その他の費用	△54,906	△83,972
営業利益	181,279	74,119
金融収益	5,666	7,331
金融費用	△6,707	△7,819
税引前四半期利益	180,238	73,630
法人所得税費用	△35,399	△23,308
四半期利益	144,839	50,323
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	144,839	50,323
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	79.43	28.06
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	79.40	27.96

(2) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期利益	144,839	50,323
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	4,411	△5,003
確定給付制度の再測定	917	471
小計	5,328	△4,532
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の外貨換算差額	68,384	73,729
キャッシュ・フロー・ヘッジ	—	△7,682
ヘッジコスト	—	2,098
小計	68,384	68,146
その他の包括利益	73,711	63,614
四半期包括利益合計	218,550	113,936
四半期包括利益の帰属 親会社の所有者	218,550	113,936

(3) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	286,459	289,029
のれん	328,411	387,969
無形資産	562,496	1,452,341
売上債権及びその他の債権	24,173	20,819
持分法で会計処理されている投資	12,689	15,636
繰延税金資産	84,169	42,621
その他の金融資産	97,886	101,572
その他の非流動資産	10,280	8,593
非流動資産合計	1,406,564	2,318,580
流動資産		
棚卸資産	174,386	225,980
売上債権及びその他の債権	427,965	495,961
未収法人所得税	17,813	9,944
その他の金融資産	19,784	31,458
その他の流動資産	32,428	31,594
現金及び現金同等物	376,840	253,978
小計	1,049,216	1,048,915
売却目的で保有する資産	738	1,186
流動資産合計	1,049,954	1,050,102
資産合計	2,456,518	3,368,682

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資本及び負債		
資本		
資本金	103,001	103,001
資本剰余金	181,280	182,983
自己株式	△25,123	△34,147
利益剰余金	908,158	838,621
その他の資本の構成要素	340,640	412,797
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,507,954	1,503,255
資本合計	1,507,954	1,503,255
負債		
非流動負債		
社債及び借入金	50,000	463,804
仕入債務及びその他の債務	4,217	2,150
繰延税金負債	6,048	70,013
退職給付に係る負債	24,818	26,530
引当金	6,537	5,401
その他の金融負債	89,924	99,669
その他の非流動負債	40,987	44,146
非流動負債合計	222,530	711,712
流動負債		
社債及び借入金	75,000	407,177
仕入債務及びその他の債務	140,236	150,426
未払法人所得税	5,137	34,822
引当金	17,855	13,830
その他の金融負債	105,131	100,648
その他の流動負債	382,675	446,813
流動負債合計	726,034	1,153,715
負債合計	948,564	1,865,427
資本及び負債合計	2,456,518	3,368,682

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					新株予約権	在外営業活動体の外貨換算差額
2022年4月1日残高	103,001	179,467	△13,934	944,261	630	233,621
四半期包括利益						
四半期利益	—	—	—	144,839	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—	68,384
四半期包括利益合計	—	—	—	144,839	—	68,384
所有者との取引額						
自己株式の取得	—	—	△10,555	—	—	—
自己株式の処分	—	△1,351	1,468	△86	△29	—
配当金	—	—	—	△100,355	—	—
株式報酬取引	—	2,475	—	—	—	—
利益剰余金への振替	—	—	—	7,587	—	—
所有者との取引額合計	—	1,123	△9,087	△92,854	△29	—
2022年12月31日残高	103,001	180,591	△23,020	996,246	601	302,005

2023年4月1日残高	103,001	181,280	△25,123	908,158	536	324,276
四半期包括利益						
四半期利益	—	—	—	50,323	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—	73,729
四半期包括利益合計	—	—	—	50,323	—	73,729
所有者との取引額						
自己株式の取得	—	—	△10,734	—	—	—
自己株式の処分	—	△1,452	1,710	△174	△73	—
配当金	—	—	—	△116,653	—	—
株式報酬取引	—	3,156	—	—	—	—
利益剰余金への振替	—	—	—	△3,033	—	—
非金融資産への振替	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	1,704	△9,023	△119,860	△73	—
2023年12月31日残高	103,001	182,983	△34,147	838,621	464	398,006

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						資本合計
	その他の資本の構成要素					合計	
	キャッシュ・フロー・ヘッジ	ヘッジコスト	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定	合計		
2022年4月1日残高	—	—	13,261	—	247,512	1,460,308	1,460,308
四半期包括利益							
四半期利益	—	—	—	—	—	144,839	144,839
その他の包括利益	—	—	4,411	917	73,711	73,711	73,711
四半期包括利益合計	—	—	4,411	917	73,711	218,550	218,550
所有者との取引額							
自己株式の取得	—	—	—	—	—	△10,555	△10,555
自己株式の処分	—	—	—	—	△29	2	2
配当金	—	—	—	—	—	△100,355	△100,355
株式報酬取引	—	—	—	—	—	2,475	2,475
利益剰余金への振替	—	—	△6,670	△917	△7,587	—	—
所有者との取引額合計	—	—	△6,670	△917	△7,616	△108,434	△108,434
2022年12月31日残高	—	—	11,002	—	313,607	1,570,424	1,570,424

2023年4月1日残高	—	—	15,827	—	340,640	1,507,954	1,507,954
四半期包括利益							
四半期利益	—	—	—	—	—	50,323	50,323
その他の包括利益	△7,682	2,098	△5,003	471	63,614	63,614	63,614
四半期包括利益合計	△7,682	2,098	△5,003	471	63,614	113,936	113,936
所有者との取引額							
自己株式の取得	—	—	—	—	—	△10,734	△10,734
自己株式の処分	—	—	—	—	△73	12	12
配当金	—	—	—	—	—	△116,653	△116,653
株式報酬取引	—	—	—	—	—	3,156	3,156
利益剰余金への振替	—	—	3,504	△471	3,033	—	—
非金融資産への振替	7,682	△2,098	—	—	5,584	5,584	5,584
所有者との取引額合計	7,682	△2,098	3,504	△471	8,544	△118,635	△118,635
2023年12月31日残高	—	—	14,328	—	412,797	1,503,255	1,503,255

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	180,238	73,630
減価償却費及び無形資産償却費	82,721	109,197
減損損失(又は戻入れ)	24,237	13,776
金融収益及び金融費用	1,040	488
棚卸資産の増減額	2,648	△44,612
売上債権及びその他の債権の増減額	△38,716	△31,910
仕入債務及びその他の債務の増減額	△15,565	△14,025
その他	33,731	16,536
小計	270,335	123,081
法人所得税の支払額	△58,160	△22,585
営業活動によるキャッシュ・フロー	212,174	100,496
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△25,193	△27,527
無形資産の取得による支出	△35,229	△35,046
無形資産の売却による収入	208	11,003
資本性金融商品の売却による収入	12,168	—
子会社の取得による支出	—	△784,784
利息及び配当金の受取額	2,084	6,275
その他	△15,819	6,435
投資活動によるキャッシュ・フロー	△61,781	△823,644
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増減額	△15,000	263,169
社債の発行及び長期借入れによる収入	50,000	471,615
社債の償還及び長期借入金の返済による支出	—	△6,667
自己株式の取得による支出	△10,555	△10,734
親会社の所有者への配当金の支払額	△100,355	△116,653
リース負債の返済による支出	△12,933	△9,956
その他	△2,276	△7,644
財務活動によるキャッシュ・フロー	△91,120	583,131
現金及び現金同等物の為替変動による影響	6,557	17,156
現金及び現金同等物の増減額	65,830	△122,862
現金及び現金同等物の期首残高	315,986	376,840
現金及び現金同等物の四半期末残高	381,816	253,978

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(企業結合)

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

IVERIC bio, Inc. の取得

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称	IVERIC bio, Inc. (以下「Iveric Bio社」)
事業の内容	医薬品の研究開発

② 取得日

米国東部時間 2023年7月11日

③ 取得した議決権付資本持分の割合

100%

④ 被取得企業の支配の獲得方法

現金を支払対価とする株式取得

⑤ 企業結合を行った主な理由

当社は、VISION「変化する医療の最先端に立ち、科学の進歩を患者さんの『価値』に変える」の実現に向け、最先端の「価値」駆動型ライフサイエンス・イノベーターを目指しています。研究開発戦略であるFocus Areaアプローチとして、多面的な視点でバイオロジーとモダリティ/テクノロジーの独自の組み合わせを見出し、アンメットメディカルニーズの高い疾患に対する革新的な医薬品の創出に取り組んでいます。現在、「再生と視力の維持・回復」を含む5つのPrimary Focusを特定し、優先的に経営資源を投下しています。Iveric Bio社買収は、当社が掲げる重点領域における製品ポートフォリオ構築のための重要なステップとなります。

Iveric Bio社は、眼科領域において新規治療薬の研究開発に注力しています。地図状萎縮 (Geographic Atrophy: GA) を伴う加齢黄斑変性 (Age-related Macular Degeneration: AMD) の治療薬として開発中のIZERVAY (一般名: avacincaptad pegol、以下「ACP」) 硝子体内注射液について、米国食品医薬品局 (FDA) から2023年8月4日 (現地時間) に承認を取得しました。

補体因子C5阻害剤であるACPは、GAを伴うAMDの治療薬候補であり、十分な治療を受けていない多くの患者さんに価値を提供できる可能性があります。ACPは、これまでに2つのピボタル試験 (GATHER1, 2試験) において、主要評価項目 (GAの進行抑制) を統計学的に有意に達成し、この適応症についてFDAからブレイクスルーセラピー指定 (Breakthrough Therapy Designation) を受けています。

Iveric Bio社のリードプログラムであるACPを獲得することが、当社の経営計画2021で定める2025年度までの売上目標に貢献するだけでなく、ACPは、fezolinetantやPADCEVとともに収益を生み出す柱として、2020年代後半に控えるXTANDIの独占期間満了による売上減少を補うことが期待されています。

また、Iveric Bio社の買収により、当社は、コマーシャルチームや、専門家との広範なネットワーク、医療機関とのパートナーシップを含む、眼科領域における基盤ケイパビリティを獲得します。このようなケイパビリティ獲得を通じて、当社は、Primary Focus「再生と視力の維持・回復」における目標達成に向け、臨床開発・市場アクセスを加速させていきます。

(2) 取得日現在における取得資産、引受負債及び支払対価の公正価値

(単位：百万円)

	第2四半期連結会計期間 末の暫定的な公正価値	その後の修正	修正後の公正価値
無形資産	884,331	—	884,331
FVTOCIの金融資産（負債性）	9,986	—	9,986
現金及び現金同等物	44,649	—	44,649
その他の資産	2,607	—	2,607
繰延税金負債	△149,046	—	△149,046
短期借入金	△15,079	—	△15,079
その他の負債	△7,984	—	△7,984
取得資産及び引受負債の 公正価値（純額）	769,464	—	769,464
ベース・アジャストメント	△5,584	—	△5,584
のれん	35,236	4,122	39,358
合計	799,116	4,122	803,238
支払対価の公正価値の合計	799,116	4,122	803,238

当第3四半期連結会計期間において、当該企業結合の取得日現在における支払対価の公正価値の測定に関して、新たな事実が判明し追加的な分析を行ったため、上記のとおり、支払対価の暫定的な公正価値を修正しています。なお、取得日現在における取得資産、引受負債及び支払対価の公正価値の測定は継続中であるため、企業結合の当初の会計処理は完了していません。

のれんの主な内容は、個別に認識要件を満たさない、取得から生じることが期待される既存事業とのシナジー効果及び超過収益力です。

(3) キャッシュ・フロー情報

	金額（単位：百万円）
支払対価の公正価値の合計	803,238
被取得企業が保有する現金及び現金同等物	△44,649
ベース・アジャストメント	5,584
子会社の取得による支出	764,173

上記のほか、Iveric Bio社の権利確定前のストック・オプション等の株式報酬に係る支払33,128百万円を企業結合とは別個に認識し、要約四半期連結純損益計算書の「その他の費用」に計上しています。

(4) 取得関連費用

3,581百万円

取得関連費用は、要約四半期連結純損益計算書の「販売費及び一般管理費」に含まれています。

(5) 要約四半期連結純損益計算書に与える影響

- ① 当第3四半期連結累計期間の要約四半期連結純損益計算書で認識されている取得日以降の被取得企業の税引前四半期利益（△は損失）

△85,660百万円

(注) 上記には、企業結合とは別個に認識されたIveric Bio社の権利確定前のストック・オプション等の株式報酬に係る支払33,128百万円が含まれています。

- ② 企業結合が期首に実施されたと仮定した場合の当第3四半期連結累計期間の要約四半期連結純損益計算書の税引前四半期利益に与える影響額（△は損失）

△52,284百万円

(注) この影響額は、Iveric Bio社の2023年4月1日から取得日までの業績に基づいて算定しています。